

## 一般質問 まとめ 3 町田式新農法-水耕栽培メロンの普及拡大について

2024年12月3日 町田市議会議員 無所属会派 吉田つとむ

今回は、「表題3 町田式新農法-水耕栽培メロンの普及拡大について」を尋ねました。以下は、自分の質問を中心に、そのやり取りを記した概要です。



町田市の水耕栽培メロンは町田市の特産品として、徐々に知名度を得ていると思う。

水耕栽培メロンは、そのシステムを町田市内の機械メーカーが開発し、町田市内にもその栽培用ハウスがあり、佐藤議長の時代に、相模原市議会との交流事業で視察を行っている。その時は、メロンと水耕栽培システムの話をつつた。

その後、別途ハウスの見学会を訪れたり、あるいは先日のきらり町田の行事に出店していた、「まちだシルクメロン」のコーナーを見ると、それら以外の人もかかわっている様子が伺えた。

そこで、

### (1) 町田市での取り組みの状況について

事業として、どのような広がりを持っているのかを尋ねたい。としました。

### (2) 市外への普及について

町田式新農法の水耕栽培メロンに関して、メーカーはシステムを販売する企業であり、他市でも普及しているようである。昨年は、無所属会派で青森県つがる市（リンゴや桜で有名な弘前市のすぐ隣の自治体の取り組みを視察すると、つがる市はメロンの全国第3位の生産量の都市で、この町田式新農法によるメロンの試験栽培を行っており、販売直前になっていた。

町田市は、こうした取り組みをどのように考えているかを尋ねたいとしました。



答弁では、町田市内事業者が合同して、まちだシルクメロンの栽培と販売を行っていること、お菓子やキャンディーの製造に関して、一般企業や障がい者事業の支援の NPO 法人がかかわっていることがその名称を含めて紹介されました。

また、町田式新農法の水耕栽培メロンのシステムに関して、青森県つがる市、埼玉県越谷市や群馬県、福島県などや海外にも納入されていること答弁されました。



きらりまちだ祭 シルクメロンのお菓子

再質問では、

「(1) 町田市での取り組みの状況について」は、  
NPO の障がい者施設の就業にもつながっているということでもあり、  
製品作りを拡充できるように願っています。  
と発言で終わりました。

「(2) 市外への普及について」は、さらに次のように述べました。

先日は、埼玉県越谷市の市議の方が視察で来られたのですが、昼の時間に会いました。  
越谷市は市の農業試験場を運営しており、その一角で町田式新農法-水耕栽培メロンの栽培に取り組んでおり、以前に訪ねたことがあります。



それが、今年は民間の方もその栽培を開始し、その双方のメロンが販売会で一般に販売されたということでした。スカイメロンというブランド名ですが、空中で実る意味と、越谷市が東武スカイツリー線沿線の都市であることからこの名称になったというものでした。

こうした広がりを見て、町田市がこれらの水耕栽培メロンを並べる、食べ比べる、そうした方法で、より、町田式新農法-水耕栽培メロンの普及を見える化する考えはあるでしょうか。と尋ねました。

答弁では、

町田式新農法の水耕栽培メロンシステムの購入地域のメロンの品評会が考えられる旨のことが明らかにされました。今後、さらに町田式新農法の水耕栽培メロンシステムの広がりが生まれる期待が持てました。

なお、今年の「きらりまちだ祭」イベント出店で、町田シルクメロンの店舗テントでは、青森県つがる市の水耕栽培メロンの紹介パネルが合わせて掲示されました。と質問中に紹介しました。

町田式新農法水耕栽培メロンシステム町田シルクメロンきらりまちだ祭埼玉県越谷市農業試験場  
青森県つがる市障がい者就労施設町田市議会議員吉田つとむ